

「第9回全日本小学校ホームページ大賞」(J-KIDS大賞2011)

各都道府県等の「優秀校」決定

J-KIDS大賞実行委員会
(事務局：株式会社損害保険ジャパン)

J-KIDS大賞実行委員会(実行委員長：村井 純 慶應義塾大学環境情報学部長・教授)では、「ホームページの活性化を通じて、学校と保護者・地域とのより良い関係の構築に寄与するとともに、未来を担う小学生が、主体的・積極的にホームページを使いこなす環境の醸成とリテラシーの育成に貢献する」ことを理念として、優れた小学校ホームページを表彰する「第9回全日本小学校ホームページ大賞」(J-KIDS大賞2011)を、約40の公的機関・企業・団体・大学などの協力を得て開催しております。

今般、「都道府県等優秀校」を決定しましたので、発表します。

1. 「都道府県等優秀校」の発表について

47都道府県および特別支援学校・在外日本人学校の計49のカテゴリにおいて、「都道府県等代表校」(9月26日に発表済み)に次いで優れたホームページを運営している小学校として、カテゴリごとに最大9校を「都道府県等優秀校」として表彰します。今回の受賞校の総数は、385校です。

「都道府県等代表校」および「都道府県等優秀校」の受賞校については、J-KIDS 大賞の公式サイトをご参照ください。(各校のホームページへのリンクも掲示しています。)

<http://www.j-kids.org/progress/schoolmap.html>

2. 「J-KIDS大賞2011」選考プロセス

(1) 選考対象校総数(ホームページを保有する小学校数)

19,598校(昨年度19,333校)

(2) 都道府県等代表校・優秀校の選考

①社会人ボランティア募集：6月3日～6月24日

「J-KIDS大賞2011」に後援、協賛または協力をいただいた企業・団体などから社会人ボランティアを募集しました。

②一次評定：6月24日～8月3日

選考対象校のホームページを約1,000名の社会人ボランティア等が閲覧し、選考基準にしたがって厳正かつ公正に一次評定を実施しました。

③二次評定(都道府県等代表校・優秀校候補の内定)：8月4日～9月7日

J-KIDS大賞実行委員会事務局において社会人ボランティア等が行った一次評定の結果を精査し、都道府県等代表校および優秀校候補の内定をしました。

④都道府県等代表校の決定・発表：9月26日

都道府県等代表校候補に内定した小学校へ受賞意思を確認したうえで、都道府県等代表校を正式に決定し、発表しました。

⑤都道府県等優秀校(385校)の発表：11月18日

都道府県等優秀校候補に内定した小学校へ受賞意思を確認したうえで、今般、都道府県等優秀校を正式に決定し、発表します。

※ 「都道府県等優秀校」は内定小学校数が多く、受賞意思確認に時間を要するため、「都道府県等代表校」よりも発表が後になっています。

(3) 全国大会表彰校の選考

10月3日から「全国大会選考」を実施しています。実行委員・選考委員により以下の10校を全国大会表彰校として選出し、12月上旬に発表します。(実行委員・選考委員につきましては、(別紙)をご参照ください。)

- ・ベスト8（8校）：都道府県等代表校52校の中から選出
- ・デジタルイメージ賞※¹（1校）：都道府県等代表校52校および都道府県等優秀校の中から選出
- ・グローイングアップ賞※²（1校）：都道府県等代表校52校および都道府県等優秀校の中から選出

※1 デジタルイメージ賞

「デジタルイメージを有効に活用し、子どもたちの学校生活の様子をセンスよく伝えているホームページ」を持つ小学校に対する賞です。

※2 グローイングアップ賞

「子どもたちの日々の学校生活の様子がいきいきと表現され、子どもたちの『成長』が感じ取れるホームページ」を持つ小学校に対する賞です。

(4) J-KIDS大賞2011最終選考

12月から「J-KIDS大賞2011最終選考」を実施します。実行委員により全国大会表彰校10校の中から以下の4校を選出します。なお、各大臣賞については、後援をいただいている各省に相談のうえ決定します。

- ・「J-KIDS大賞」（1校）
- ・「文部科学大臣賞」（1校）
- ・「総務大臣賞」（1校）
- ・「経済産業大臣賞」（1校）

(5) 表彰式の開催

1月28日に全国大会表彰校10校をご招待して表彰式を開催します。その場で「J-KIDS大賞2011最終選考」の結果発表を行い、上記2（4）の各賞に決定した4校を表彰する予定です。

3. お問い合わせ先

- ・ J-KIDS大賞実行委員会事務局（株式会社損害保険ジャパン） info@j-kids.org
（報道関係以外の方からのお問い合わせは、メールによるもののみ受け付けます。）

以上

<参照URL>

◆「J-KIDS大賞公式サイト」

「都道府県等優秀校」385校のホームページリンク集 — 今回発表
<http://www.j-kids.org/progress/schoolmap.html>

◆9月26日付けニュースリリース資料（「都道府県等代表校」52校の発表）

http://www.sompo-japan.co.jp/news/20110926_1.html

◆J-KIDS大賞公式サイト <http://www.j-kids.org/>

1. 主催

J-KIDS 大賞実行委員会

2. 実行委員会

| | |
|------------|-----------------------------|
| (委員長) 村井 純 | 慶應義塾大学 環境情報学部長・教授 |
| (委員) 大川 恵子 | 慶應義塾大学大学院 メディアデザイン経営情報学科教授 |
| 小林 和真 | 倉敷芸術科学大学 産業科学技術学部 IT 科学科教授 |
| 豊福 晋平 | 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター准教授 |
| 中島 洋 | 経済ジャーナリスト |

3. 選考委員

| | |
|--------|------------------------------------------|
| 有吉 司 | 株式会社日立製作所 デザイン本部 本部長 |
| 加治佐 俊一 | マイクロソフト ディベロップメント株式会社 代表取締役社長 |
| 木下 剛 | シスコシステムズ合同会社 専務執行役員 |
| 久世 和資 | 日本アイ・ビー・エム株式会社 執行役員 |
| 角 秀洋 | 株式会社損害保険ジャパン 取締役常務執行役員 |
| 前沢 孝夫 | NTTコミュニケーションズ株式会社 常務取締役 |
| 松阪 喜幸 | キヤノンマーケティングジャパン株式会社 執行役員 コミュニケーション本部 本部長 |

4. 後援

文部科学省／総務省／経済産業省／NHK／
倉敷芸術科学大学／慶應義塾大学／WIDEプロジェクト

5. 協賛

株式会社インフォメーション・ディベロップメント／SCSK 株式会社／
NTT コミュニケーションズ株式会社／株式会社 NTT データ／
キヤノンマーケティングジャパン株式会社／
シスコシステムズ合同会社／株式会社損害保険ジャパン／
日本アイ・ビー・エム株式会社／日本ヒューレット・パッカート株式会社／
日本マイクロソフト株式会社／パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社／
株式会社日立システムズ／株式会社日立製作所／
丸紅情報システムズ株式会社／みずほ情報総研株式会社

6. 協力

アドビ システムズ 株式会社／株式会社インターネット総合研究所／
NEC ソフト株式会社／キッズ goo(NTT レゾナント株式会社)／沖電気工業株式会社
特定非営利活動法人 学校インターネット教育推進協会／
国際大学グローバル・コミュニケーション・センター／株式会社スペースポート／
株式会社セールスフォース・ドットコム／西日本電信電話株式会社／
日本興亜損害保険株式会社／日本航空／日本電気株式会社／
東日本電信電話株式会社／富士通株式会社／株式会社ベルシステム24／
社会人ボランティアの皆様

7. 事務局

株式会社損害保険ジャパン

※ 実行委員、選考委員、協賛、協力は五十音順で掲載しております。